

令和6年2月20日東京にて、令和5年度公衆衛生事業功労者表彰式が開催され、当研究所所長の岩本朋忠が多年にわたる公衆衛生の向上に寄与した功績を認められ、一般社団法人 日本公衆衛生協会会長表彰を受賞しました。

数ある功績の中でも、特に平成21年の新型インフルエンザ感染症と今般の新型コロナウイルス感染症という2度の感染症危機発生に対して、卓越した遺伝子検査の技術と知識で、市民への迅速かつ正確な情報提供を果たしてきた。今だ世界規模での感染が続いている新型コロナ感染症では、全国に先駆けてゲノムサーベイランスを立ち上げ、次々と出現する変異株の地域内発生状況を的確に把握し、市民への情報提供を通じて、地域の感染対策に大きく貢献したことが認められたものです。

